

研修マニュアル(検査部) ver.1.0

(2023/1/30 作成)

【週間スケジュール】 心エコー図検査希望の例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	超音波検査	超音波検査	超音波検査	超音波検査	超音波検査		
午後	超音波検査 (経食道心エコー図)	超音波検査	超音波検査 (経食道心エコー図)	超音波検査 (負荷心エコー図)	超音波検査		
夜							

◎到達目標

検査部研修時の到達目標の目安

※研修医個々の希望によって異なります。また能力および研修に対する態度によって到達度が大きく異なる可能性があります。

【知識】

- ・(生理検査)超音波検査(心臓・腹部・血管・表在など)が正しく施行できる
- ・(生理検査)超音波検査(心臓・腹部・血管・表在など)の正常所見が理解でき、異常所見が認識できる
- ・(生理検査)超音波診断から、それぞれの疾患の病態を考察できる
- ・(生理検査)心電図検査・運動負荷心電図検査が実施でき、所見が解釈できる
- ・(細菌検査)細菌検査所見の一般的な解釈ができる
- ・(細菌検査)グラム染色が実施・解釈できる
- ・(輸血検査)輸血検査について理解・解釈できる
- ・臨床技師の仕事内容について理解し、適切にコミュニケーションを取ることができる

【技術】

(生理検査(超音波希望)の場合)

超音波検査(領域問わず) 5~10例/日

研修終了時には、検査報告書が自分で記載できること、正常所見について理解できることが目標です。

◎研修について

研修開始前には研修医担当医師に連絡を取って下さい。研修内容の打ち合わせをします。

主に超音波検査の技術習得を希望して研修する研修医が多いですが、これまで細菌検査や輸血検査を希望して選択された研修医も受け入れています。個々の希望に合わせて、対応できる範囲で対応します。

基本的には臨床検査技師から指導を受けることとなります。コメディカルとのコミュニケーションを適切に取ってください。また、検査を受ける患者さんとのコミュニケーションも重要です。医師としての立場ではなく、一メディカルスタッフとしてプロフェッショナル意識をもって接するように心がけましょう。

◎超音波検査について

原則、毎日 8 時 30 分から検査は始まります。それまでに検査部に来て、準備をしてください。はじめは機器の操作について見学して覚えてもらい、徐々に自発的に検査を行ってください。ただし検査後は技師のチェックを受けるようにしてください。

検査を行うときは、時間を意識してください。初期のころはどうしても検査に時間がかかってしまいます。特に午前中の外来患者の検査時に初心者が時間をかけすぎてしまうと、患者の外来受診が遅れるなど支障をきたし、クレームが出る場合があります。検査後のチェックの時間も必要ですので、それを踏まえて検査時間が長くなりすぎないように気を付けてください。

検査部では 1 内科の先生が腹部超音波検査を、2 内科の先生が心エコー図検査や経食道心エコー図検査、運動負荷心エコー図などを行っています。それらについても見学や参加をして構いません。

◎サポートおよびトラブル発生時の対応 (PHS と不在時間)

わからないこと、困っていることがあったら必ず担当技師あるいは研修医担当医師に相談すること。